

2020年12月期第2四半期 決算補足説明資料

株式会社アプリックス 2020年8月13日



業績報告 (2020年度第2四半期)

20年12月期第2四半期 累計P/L(連結)

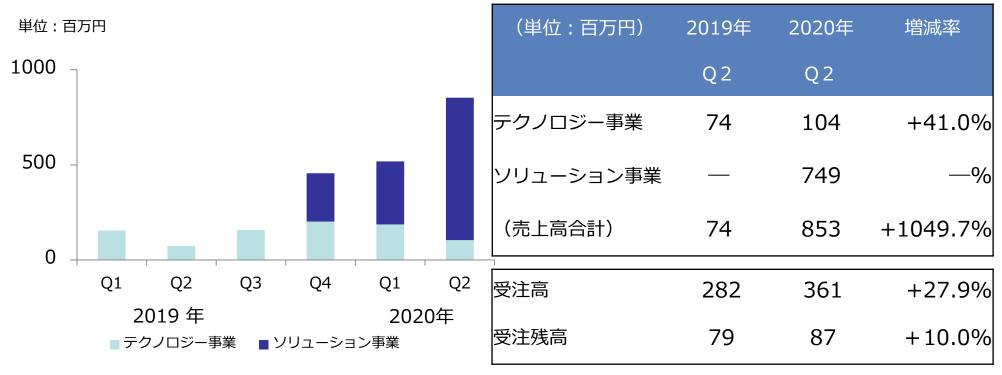


(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
19年12月期 Q2累計実績(B)	229	▲145	▲146	▲175
20年12月期 Q2累計実績(B)	1,372	75	68	66
増減額(B-A)	+1,143	+220	+215	+242
増減率(%)	+498.2			

- ▶ 売上高の大幅増加、また営業損益以下のすべての損益について黒字化。
- ▶ 主な要因は、スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社(SMC)の業績(2020年1月~6月)が連結数値に計上されたこと、またSMCのMVNOブランド「スマモバ」における格安ケータイや格安SIM、また3月より提供を開始したモバイルWiFiルーターサービス「THE WiFi」の販売が好調に推移したことによるもの。

20年12月期第2四半期 売上高推移





テクノロジー事業

売上高の主な要因は、ネスレ日本株式会社等の受託開発案件やロケーションビーコン「Mybeaconシリーズ」の販売によるもの。

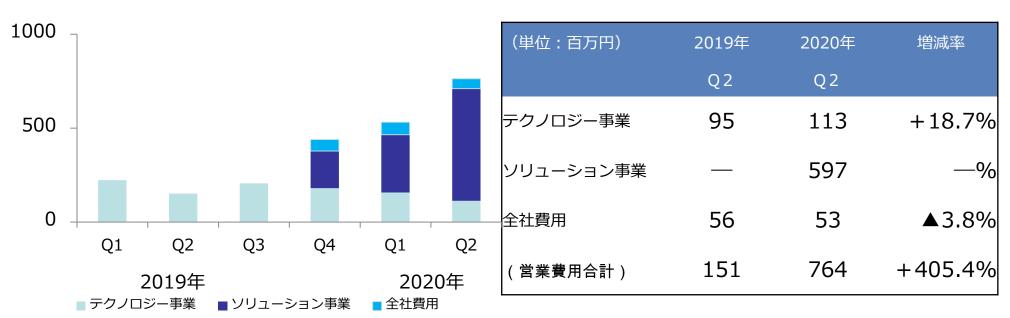
▶ ソリューション事業

SMCのMVNOブランド「スマモバ」で展開する格安ケータイや格安SIM、また「THE WiFi」などのモバイルWiFiルーターサービスの拡販に注力。

20年12月期第2四半期 営業費用推移



単位:百万円



▶ 前四半期と比較して営業費用が増加した理由は、ソリューション事業においてSMCに関連する販管費等やクラウド・データ通信サービスに関連する費用が発生したことによるもの。



業績予想進捗報告 (2020年度第2四半期)

20年12月期 業績予想に対する進捗報告(連結)



(単位:百万円)

	20年12月期 通期業績予想 (A)	20年12月期 2Q実績 (B)	進捗率 (B/A)
売上高	2,502	1,372	54.8%
営業費用	2,452	1,297	_
営業利益	50	75	150.0%

- ▶ 売上高については業績予想値に対して進捗率54.8%と好調に推移。主な要因としては、SMCの MVNOブランド「スマモバ」における格安ケータイ、格安SIMの販売のほか、3月より提供を開始 したモバイルWiFiルーターサービス「THE WiFi」の販売によるもの。
- ▶ 営業利益については、売上高の好調な推移に伴い業績予想値を上回る利益額を計上。
- ▶ 通期業績予想値に対する営業利益の進捗は非常に好調だが、下半期(9/1~12/31)に予定していた収益が来期へ期ずれしたり、案件の獲得見込みが不透明であるなど不確実性が存在することから、現段階では業績予想値の修正は行わない(後述)。

20年12月期 セグメント別業績予想に対する進捗報告



				(単位:百万円)
	20年12月期 通期業績予想 (A)	20年12月期 2Q実績 (B)	進捗率 (B/A)	
テクノロジー事業				
売上高	820	292	35.6%	▶ テクノロジー事業の収益の中心 である受託開発案件について、
営業費用	572	270	_	いくつかの案件が来期に期ズレ したこと、また下期に売上計上 予定だった案件についても来期
営業利益	248	21	8.5%	に期ズレしたことから、業績予 想値に対する進捗状況は鈍化
ソリューション事業				▶ MVNOブランド「スマモバ」の
売上高	1,682	1,080	64.2%	格安スマホや格安SIM、 モバイルルータ「THE WiFi」等
営業費用	1,592	906		の拡販が好調に推移。➤ 3Q以降の下期の見通しについて
営業利益	90	174	193.3%	は、後述の「THE WiFi」の速度 低下等の影響により、上期より
全社費用				減速する見通し ▶ 継続的なコスト削減を実施
営業費用	288	120	_	新しい働き方を推進するための 体制、仕組み作りに取り組む

<ご参考>20年12月期 業績予想進捗報告 (SMC)



(単位:百万円)

	20年12月期 通期業績予想 (A)	20年12月期 2 Q実績 (B)	進捗率 (B/A)
売上高	1,479	1,068	72.2%
営業利益	95	208	218.9%

▶ 売上高及び営業利益いずれも業績予想値に対して好調に推移。主な要因は、独自MVNOブランド「スマモバ」における格安ケータイや格安SIM、クラウドSIMを用いたモバイルWiFiルーターサービス「めっちゃWiFi」や「THE WiFi」の販売によるもの。

業績予想値の修正について



営業利益について業績予想値50百万円に対して75百万円と好調に推移。ただしP.8「20年12月期セグメント別業績予想に対する進捗報告」に記載のとおり、下期における見通しに下記記載のとおりいくつか不確実性があること、また現状において当社グループが把握する下期引き合い案件の受注額や確度等を勘案し、保守的に考えた上で当第2四半期決算発表時点では業績予想の上方修正は行わないことを決定。

▶ テクノロジー事業

受託開発案件において下期に予定していたいくつかの案件が来期に期ズレする見通し。 また下期に計上予定であったいくつかの案件についても売上計上時期が来期に期ズレする見通し。

ソリューション事業

2Qまでの上期において売上に大きく貢献したSMC「スマモバ」のモバイルWiFiルーター「THE WiFi」について、当社及びSMCのホームページでお知らせしたとおり通信速度低下の問題が発生したことに伴い、5月以降は積極的な拡販活動を控え当該状況の改善に向けて取り組んでいたことから、販売開始時と比較して販売状況が減速。下期以降は再度拡販に努める予定であるものの、市場の変化等も存在することから、販売開始時と同様に好調に販売が推移するかどうか不透明。

なお、上記に記載した不確実要素が解消される等の変動が発生した場合や、その他業績予想の今後 の見通しに大きく影響を与える事象が発生した場合は、速やかに業績予想値の修正を行う予定。



トピックス(コーポレート関連)

SMCによる吸収分割の実施



2020年7月29日開催のSMC取締役会において、アドベント株式会社(以下「アドベント」)におけるWiMAX及びモバイルネットワークに関する事業(以下「本事業」)を会社分割(吸収分割)の方法により承継すること(以下「本吸収分割」)について決議。

▶ 本吸収分割の背景

- アドベントでは、「advent WiMAX」ブランドにて本事業を展開していたものの、事業の選択と 集中を行うべく、本事業より撤退しその他の事業に注力する方針を定め、本事業について譲渡先の 検討を重ねており、MVNOを営む通信事業者でありすでにWiMAXに関する事業を展開している SMCが事業譲渡の打診を受けた。
- SMC及び当社において当該提案について検討を行った結果、アドベントは本事業の撤退決定時 (本年3月頃)より新規顧客の獲得を停止しており、今後顧客数については減少していくものの、 現時点において1月あたり1千万円程度の売上獲得が見込まれていること、またすでにWiMAX 事業を展開するSMCにおいては比較的容易に事業運営を承継できること、更には本事業の顧客へ SMCが展開する他のサービス等を提案することが可能になること等から、今後減少する既存顧客 から得られる収益の減少を勘案しても収益性やその他ビジネス面においてメリットがあるものと 判断した。

▶ 本吸収分割の概要

効力発生日:2020年9月1日(予定)

• 取得対価 : 1円

承継資産:7,001千円(承継負債は無し)

のれん : 負ののれんとして約4百万円発生(第3四半期において特別利益として計上予定)

会社概要



会社名

株式会社アプリックス

[英文表記: Aplix Corporation]

本社所在地

〒160-0051 東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

設立年月日

1986年2月22日

資本金

2,443百万円 [2019年12月末現在]

売上高

843百万円(連結) [2019年12月期]

従業員数

39名(連結) [2019年12月末現在]

マネジメント体制(2020年7月31日現在)

代表取締役社長根本忍常務取締役倉林聡子取締役(社外)平松庚三取締役(社外)田口勉常勤監査役大西完司監査役(社外)山田奨監査役(社外)坂口禎彦

執行役員 鳥越 洋輔

オブザーバー根木 勝彦オブザーバー石黒 邦宏オブザーバー曽根 卓朗

事業内容

テクノロジー事業 ソリューション事業

グループ会社

株式会社BEAMO スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社





株式会社アプリックス

https://www.aplix.co.jp/

ご注意:本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。